

昌子の広場 第19報

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10

Tel(Fax) 0725-54-2626

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/yoitikob/

ホームページもご覧下さい

yahooの小林昌子で検索出来ます。

<この会報は再生紙を使用しています>



平成15年度予算出る！
財政にイエローカード 急務な行財政改革！

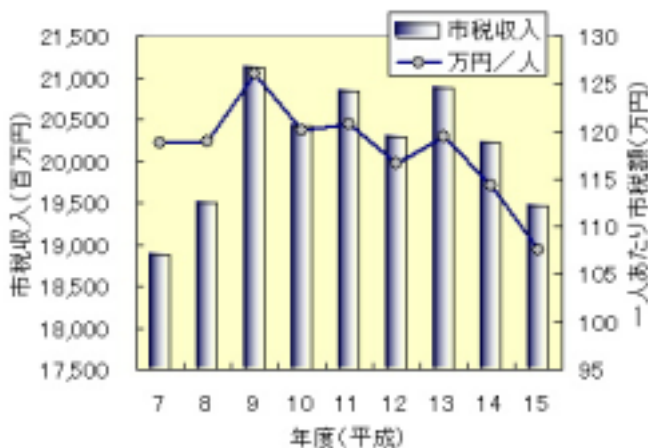
目次

- ・グラフでみる平成15年度予算 P1,2
- ・平成15年第1回定例会一般質問 P2-4
- ・昌子の広場 P 4

2003.04 作成

グラフでみる平成15年度予算

市税収入と一人あたり市税額



減少続く市税収入

財政収入の基軸となる市税収入は平成9年をピークに減少に転じ、住民の増加にもかかわらず、今年度も昨年比3.7%の減少となりました。その内訳は

- ・収入が伸びないことを反映して市民税が-3.1%(-2.2億円)、
- ・土地その他の資産価値の下落に伴う固定資産税が-4.5%(-4.1億円)となっています。

同じく一人あたり市税額も平成9年をピークに一貫して低下しており、住民が増えても市税は増えないという構造的な変化が続いています。

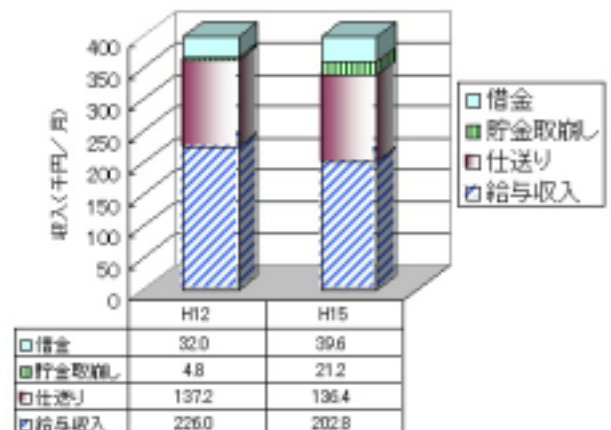
市の財政を家計に例えたら

その財政を月40万円の家計に例えますと

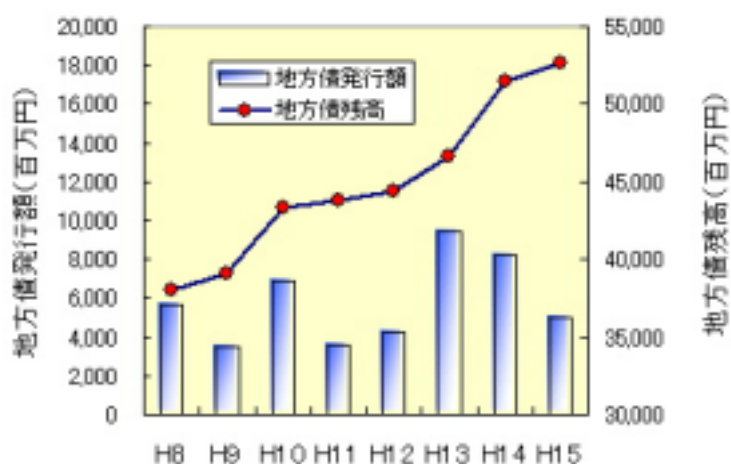
- ・ベースとなる給与収入は50.7%
- ・国や府からの地方交付税や補助金な等の各種補填が34%
- ・貯金の取り崩し即ち基金の取り崩しが5%
- ・新たな借金即ち地方債の発行が10%

となっています。自前の収入は約半分しかない状況で、国等から補填を除いた財源不足は基金の取り崩しと、地方債の発行で3年前のH12と比較すると、財源不足は更に拡大しており早急な行財政改革が必要となっています。

市の財政を家計に例えたら



累増する借金



累増する借金

財源不足を穴埋めする地方債の発行は、シティープラザの建設等でピークとなったH13年から減少に転じていますが、その残高は一貫して増え続けています。

今年度は新規の発行に約 50 億円、償還に約 38 億円で結果として 12 億円の増加となっています。償還以外に地方債の金利として 15 億円の支出が別途行われた結果です。

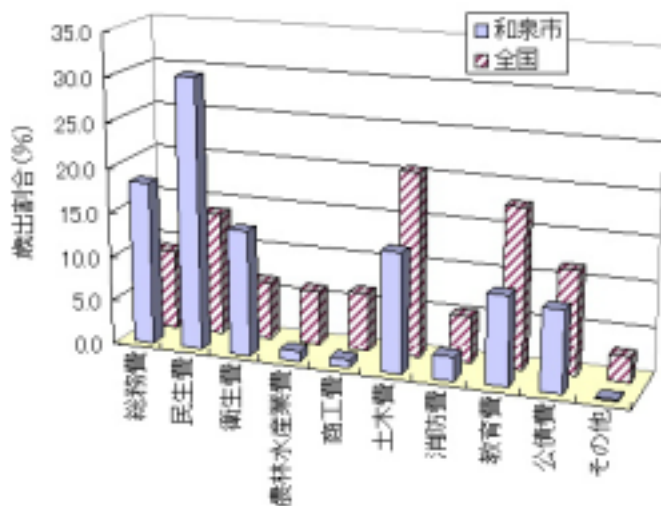
又地方債以外に後々支出しなければならない債務負担が 22 億円残っています。

和泉市の歳出の特徴

和泉市の歳出の特徴を全国平均と比較すると総務費、民生費、衛生費が全国に比べて高く、特に民生費が突出している。民生費の支出の大物は国民健康保険への補助 11 億円、障害者への援助 13 億円、介護保険への補助 10 億円、児童手当 7 億円、生活補助等 5 億円等となっています。

生活支援に手厚い予算といえる一方、教育費、商工費などが少ないことが気になる予算となっています。

歳出内容の比較



平成 14 年度第 4 回定例会で一般質問しました。

< 平和を求める社会環境作りについて >

・イラクへの武力侵攻について

< 質問 > 世界中の平和の願いもむなしく米英はイラクに武力侵攻しようとしています。市長はどのようにお考えですか。

< 市長答弁 > 和泉市では 2 回にわたる『市民ピースウォーク』が行われ、議会でも『イラク問題の平和的解決を求める決議』が提出されている。私の気持ちとしてはあくまでも平和的解決が望ましいと願っているが、米英国の今回の決断は苦渋の選択であったと考える。市民に犠牲が出ないことを願い、一日も早く平和な社会が戻ることを願っています。

・『無防備地域宣言』について

< 質問 > 和泉市がジュネーブ条約追加議定書の『無防備地域宣言』を宣言する考えはないか。

< 答弁 > 宣言の当事者は日本国であり、一地方自治体

である本市が宣言することは難しい。今後国際的な取り組みという視点から検討・研究したい。

< 要望 > 平和に取り組む先進市としてイメージアップも図られ、お金もかかりません。今後の取り組みに期待しております。

・『アンネのバラ運動』について

< 質問 > 『アンネのバラ運動』に取り組む考えはないか
< 答弁 > 人権・平和実行委員会の方々と検討したい。

< 中期財政見通しについて >

・『全国首長』アンケートについて

< 質問 > 昨年 1 2 月朝日新聞が実施した『全国首長』アンケートの財政に関して市長はどのように回答されましたか

< 市長答弁 > 現在は健全財政を維持しているが、市税・交付税などの財源確保が厳しくなる一方医療・介

護・福祉などの扶助費の伸びにより、厳しい財政環境が予想される旨の回答をした。又税源配分の見直し等により、地方が自主的に使える財源にシフトすることが望ましいと答えた。

・行財政改革についての基本的考え方について

<質問> 今回策定された財政の中期見通しは、現状の経済情勢からするとかなり甘い税収見通しを前提にしているにも拘わらず、多額の市債の発行と市の貯金である基金を取り崩して何とか赤字をくい止めている綱渡りの計画です。行財政改革が急務と思われませんが考えは。

<答弁> 平成9年に事務事業見直し基本方針を策定し、各所管部局が取り組みを行っているが、本市を取り巻く環境は当時から大きく変化しており、本年4月専任スタッフを配置し新たな財政の健全化に取り組む。

<再質問> 4月から専任スタッフを配置し、強力で進めて頂けるとのことですが、その手だてとして・ 庁内用財政広報誌 ・ 出前講座 ・ 施策別行政コスト計算書 ・ 新税研究プロジェクト等を考えていく必要があると思います。いかがですか。

<答弁> 今のところ具体的な物はないが、提案の趣旨をふまえ今後取り組みたい。

・中期財政見通しのホームページへの掲載について

<質問> 市の財政は、税金という市民負担に基づいて市民の負託に添えていくものです。

したがって、財務情報の公開・提供によって財務の透明化をはかりアカウンタビリティ(説明責任)をいかに確保していくかが課題になります。当市のホームページに掲載することは考えられませんか。

<答弁> 他の自治体にみられる市民サービスに直接影響するような『財政再建計画』と若干正確が違うので、ホームページへの掲載は考えていない。市民の方の希望があれば、ご覧出来るようにはしたい。

・複数ケースの中期計画のシミュレーションについて

<質問> 極めて不透明な状況にあって一つの前提に基づいての推計には危険が伴います。歳入規模を複数想定し財政のシミュレーションを行い、それに対応する施策を策定すべきと考えますがいかがですか。

<答弁> 今後収支見通しを策定する段階で考慮したい。

・バランスシートの策定について

<質問> 最近、多くの自治体で取り組まれているバランスシートの作成は市民への周知という観点で試みの一つと考えるのがいかがですか。

<答弁> 作成について必要な検討を進めたい。

<歳出削減について>

・職員の退職金について

<質問> 和泉市職員の退職金は今後退職者の増加に伴い

急激に増大しようとしています。和泉市職員の退職手当は、官民格差を埋めるための国家公務員規定に準じて退職手当を10%上乘せしているということです。今般国はこの国家公務員の退職金の上乗を本年度7%、来年度4%と段階的に削減する方針を打ち出しています。近くの堺市でも同様の動きがあります。当市でも検討すべきと考えますが、いかがですか。

<答弁> 堺市の状況は承知しているが、本市では他市に先駆け早期退職制度などを実施し、人件費の削減に努めている。今後は国の動向などを注視していきたい。

<要望> 先行きの退職金支給には不安がぬぐえませんが、今その仕事に携わっておられる方はしっかりと将来的な財政状態を見込んで、定員を控え市民サービスを維持するため柔軟な配置転換や組織改革に取り組んでくださるよう要望致します。

・市職員健保の事業者負担について

<質問> 事業者負担は現在70.6%です。同じく和泉市の国民健康保険は35%です。事業者負担が極めて大きく優遇されている事は歴然とした事実です。見直しの方向で検討して頂きたいと考えます。

<答弁> 市の負担割合が大きいのは事実なので健康保険組合にその趣旨を伝えていきたい。

<要望> 既得権に固執するのではなく誰もが納得できる市政運営をお願い致します。組合の場で問題提起を頂き、透明性、公平性のある運用になるようご努力ください。

・市民健康診査について

<質問> 和泉市ではすべて無料で実施していますが、今後受益者負担の考えはありますか。

<答弁> 当市は受診率が他市に比べ低く、これを改善するため無料化は有効と考えており、今のところ有料化は考えていない。

<要望> 今の世代だけがいい思いをするのではなく、次の世代のことを考えるなら何でも無料というのはいかがと思います。受益者負担が可能な方々からの応分の負担は、これからの行政改革では避けて通れない課題だと思います。今後ご検討ください。

・選挙事務について

<質問> 選挙に関わる事務のうち、市職員でないためなものだけをのぞき出来るだけ民間の活力を導入し、経費の削減に努めるべきと考えます。

今回の統一地方選挙及びその後の計画をお聞きます。

<答弁> 現在は市民の選挙への関心を高める狙いもあって各投票所に1名配置している。今後はこれを2~3名に段階的に増やしていきたい。

<要望> 職員が働いたときの報酬が一人一日あたり3.4万円は市民感覚からすれば高すぎると思います。

一般の企業ではこのような場合は振替出勤で対応するのが普通ではないでしょうか。今回の選挙費用は府から手当てされるそうですが、結局は国民の税金から出るものです。血税を無駄にしないために早急に振替出勤対応やアルバイトの更なる増員に取り組んでくださるよう要望致します。

・郵便物へのバーコード貼付について

<質問> 市内特別郵便はバーコードを宛先に印刷すると1通につき3円の割引が得られます。大量に発行する市ではこの効果は馬鹿にならないと思いますが、いかがですか。

<答弁> バーコード対応を行いますと年間40万円のコスト削減となります。ホストコンピューターのプログラム修正などを行って対応を図っていきたい。

・印刷物へのコスト表示について

<質問> 大阪府は印刷物の作成に要した費用を広報誌などに記載していると聞いています。コスト意識を持って頂くために本市でもそのような取り組みが出来ませんか。

<答弁> 現在は全く考えていないが、今後他の自治体の実施状況などを調査し、研究課題としたい。

今回一般質問しました榎尾川ダムについては、紙面の都合で次号で報告させていただきます

昌子の広場

<昌子の日記から>

- 3/1 エスコープフォーラム、グループあしたば講演会
- 3/2 女性と政治キャンペーン
- 3/3 産業建設委員会
- 3/4 和泉中央駅会報配布、総務文教委員会傍聴、小地域ネットワーク
- 3/5 光明池駅会報配布、彩生館ハート会議、財産評価委員会
- 3/6 予算委員会傍聴
- 3/7 和泉中央駅会報配布、予算委員会傍聴
- 3/9 里道清掃
- 3/10 ピースウォーク実行委員会、予算委員会傍聴
- 3/11 和泉中央駅会報配布、予算委員会傍聴
- 3/12 和泉府中駅会報配布、市政相談会
- 3/13 石尾中学校卒業式、NPO活動勉強会
- 3/14 100人委員会 NPO 発足会、北信太特養ホーム竣工式
- 3/15 ピースウォーク
- 3/17 議員運営委員会傍聴
- 3/18 緑ヶ丘小学校卒業式
- 3/20 本会議一般質問

- 3/22 万葉講座
- 3/24 和泉中央駅会報配布、本会議一般質問、つくしの家講演会、子育てサロン準備会
- 3/25 本会議、市議会便り編集委員会
- 3/26 大阪府地球温暖化防止推進委員会、ゴミ審議会、ピースウォーク、市政相談会
- 3/27 北信太駅会報配布、しゅんこうちぎり絵展、自治会館建設特別委員会
- 3/28 グリーン購入セミナー、市民の意見30例会
- 3/29 泉南市府議選候補者とトーク
- 3/30 彩生館環境講座

<事務所行事> 申込先 0725-54-2626

万葉講座

- ・講師 大高勇さん いずれも午後2時より
- ・会費 3回で 1,000円
- ・16回4/12(土) 近江の旅(Part2)
- ・17回5/11(日) 現地散策 山辺の道
- ・18回6/14(土) 山陰の旅

健康相談あれこれシリーズNo2

- お医者さんに相談するほどでもないけれど聞いてみたいあれこれを看護師さんに聞いてみませんか！ 併せて健康チェック(血圧、脈拍、むくみ等の全身チェック)もしてみましよう
- ・4月16日(水) 10:~12:
 - ・参加費 無料

銀粘土(アートクレイ)指輪作り 5月7日(水)

- 費用 材料費1000円~1500円
- 講師 日本貴金属粘土協会インストラクター 三菱マテリアル講師 一柳三貴子さん

パソコンで遊ぼう(無料)

- ・毎週土曜日 14時から
- パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく。遠くの友とメールでやりとり出来るようになりますか。
- 初めての方はご連絡下さい Tel 54-2626

市政相談会を開いています

- ・第2,4水曜日 20時~21時30分
- ・場所 小林昌子事務所
- お気軽にどうぞ!